

カブトムシをそだてたよ

豊川小・2 たかだ あおば

ぼくは、カブトムシがすきです。夏休みのはじめにカーマに行ったら、カブトムシが売っていました。ぼくは、お父さんに買ってほしいとおねがいをしました。でも、お父さんに、

「カブトムシは買うものではなくて、自分の手でとるものだよ。」

と言われました。だからぼくは、学校や公園のいろいろな木をさがしました。学校の木を見てみたら、カブトムシがいました。学校にいたカブトムシをさつそくつかまえて、家でかってみることにしました。まず、カブトムシをそだてるのにひつようなものをよういしました。ひつようなものは土とゼリーと木です。土は、うちにあったので、その土をつかうことにしました。でも、どの土がいいのか分かりません。だから、にわの土をつかいました。そして、虫かごの中に入れました。ゼリーも買って入れて、カブトムシがのぼれる木も入れました。つぎの日、カブトムシを見たら元気についてうれしかったです。夜になったら、カブトムシのメスがうちのわにきました。なかよくなるいいなあと思って、つかまえてかごに入れました。つぎの日、オスもメスも土から元気に出てきて、木にのぼっていました。ゼリーが一日でなくなっちゃうくらい元気でした。すごくうれしかったのに、一週間くらいたった日、かごを日かげにおくのをわすれてしまいました。カブトムシは、二ひきともしんでしまいました。そのときは、かなしかったです。日かげにお

けばよかったと思いました。さみしいなと思いながら土にうめしました。

ぼくは、もう一どお父さんにおねがいをしました。夜、カブトムシ公園につれていってもらいました。そして、クワガタを二ひきとカブトムシを二ひきを見つけました。合わせて四ひきも見つかって、うれしかったです。二ひきずつかごに入れて、かうことにしました。ぼくは、こんどはちゃんと日かげにおこうと思いました。ゼリーをかえるのは、ぼくのやく目です。ゼリーも一日で二つずつなくなっていくます。ゼリーがなくなると、大きくなっていくのかなと思いました。何日かたつと、カブトムシもクワガタも大きくなってきました。ときどき、手にのせてあそびますちよつといたいけど、かわいいなと思います。クワガタにかまれると、めっちゃいたいです。でも、なかよしになれたし、せわをつづけたいです。

さいしょにつかまえたカブトムシは、ぼくがしつかりめんどろを見なかったからしなせてしまいました。そこからもう一ど、お父さんとかい方をべんきょうしました。あついときは、日かげにおくことがやっぱりだいじなことだとわかりました。ゼリーをかえることや、カブトムシやクワガタがひつくりかえっていたら、自分でもどれないので、もとにもどすこともしています。そして、一ひきもしなせることなく、今もかいつづけています。カブトムシをそだててみて、生きもののいのちも大切だとわかりました。これから、カブトムシとクワガタが元気でいられるようにだいじにかいつづけたと思います。